ながはま見聞録
Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、政策デザイン課（☎65－6504）までお知らせください。

長浜市公式 SNS

●長浜の催しや風景など、自慢の一枚をインスタグラムに投稿してください。長浜市公式インスタグラムアカウント「# みんなのちょぴっく」で紹介します。詳しくは市ホームページをご覧ください。
●見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。

▲市ホームページ　▲ほっとにゅ～す

4月11日(日)
ミュージカルに感謝の気持ちを込めて

９回目となる長浜小学校合唱団の定期演奏会が長浜文化芸術会館で開かれ、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」が披露されました。

団員は「多くの人の支えてもらい開催できる。感謝の気持ちを込めて演じたい」と開催の喜びと意気込みを語りました。

訪れた観客は音楽に合わせて手拍子で応援。団員が演じ終えると、会場は感動の拍手に包まれました。

4月16日(金)
ふるさと長浜に絵画を寄贈

長浜市出身の美術家河瀬昇（かわせのぼる）さんが、長浜曳山祭や市内の風景を題材とした油絵２点を市に寄贈しました。

河瀬さんは、東京藝術大学大学院を経て都内の高校で美術教諭として勤務。曳山祭の開催に合わせて帰郷するたびに、祭りやまちなかの風景を描いてきました。

「参加する全ての人が一体感を味わえるのが祭りの魅力。市民の皆さんに見てほしい」と、藤井市長に絵画を手渡しました。

4月17日(土)～18日(日)
見て楽しい、動かして楽しい玩具

「カラクリ玩具」の作品展が、暮らしギャラリーふくらの杜（内保町）で開催されました。

作品を手掛けた蓮溪円誠（はすたにえんじょう）さんは、美術教諭として県内高校に勤めていた時から玩具作家として活動し、様々なコンテストで受賞。今回は受賞作品を含む40点の玩具が展示されました。

併せて開催のワークショップには18組が参加し、蓮溪さんから手ほどきを受けながら、玩具の制作に挑戦しました。

4月20日(火)
新しい特産物の創出に期待

小谷城スマートＩＣ栽培実験農場で、加工用トマトの産地化に向けた実証栽培が始まりました。

カゴメ株式会社とヤンマーマルシェ株式会社、そして市が連携して行うもので、約30aの圃場に5,000本のトマト苗が定植されました。農場長の脇坂良平（わきざかりょうへい）さんは、「実証栽培がうまくいって地域の特産物になれば嬉しい。収益が上がることが示せれば、市内にも広がっていくのでは」と期待を込めました。

4月24日(土)
長浜の和菓子と空き家活用でまちを元気に

市内の７つの和菓子店が結集し、伝統の和菓子を共同して販売する期間限定の店舗「餡（あん）や」を元浜町にオープンしました。

長浜まちづくり株式会社と長浜商工会議所の協力で実現したもので、中心市街地商店街の空きスペースを活用。長浜の名店の商品をバイキング方式で購入できるのが魅力です。

６月13日までの土日祝日の営業とし、その後は常設店舗としての開店をめざすとのことです。

5月8日(土)～10日(月)
夜空の下での野外劇にあふれる笑顔

長濱八幡宮境内で、野外劇団「楽市楽座」の公演が開催されました。入場は無料で、盛り上がる場面で舞台に投げ銭する方式。長浜を皮切りに、家族４人で全国約50か所を回ります。

「うたうように」と題した公演は、この世界がどうやって始まったかという昔話で、水に浮かんだ回り舞台で繰り広げられる唄や踊り、生演奏に大盛り上がり。フィナーレでは、盛大な拍手とともに多くの投げ銭が飛び交いました。

5月10日(月)
最新の設備で最先端の医療を

従来の内視鏡室が機能強化され、新たな場所で内視鏡センターとして生まれ変わりました。

最新の経鼻内視鏡など６種類８本の機器を導入され、疾病のより早期の発見、高精度治療が可能になりました。

湖北・湖東エリアでは初めて導入される機器もあり、最先端の医療が受けられると同時に、簡単な検査や手術は日帰りでできるなど、受診しやすい環境が整備されました。

5月15日(土)
浜ちりめんと長浜の魅力を発信

「浜ちりめん長浜観光大使」の任命式が行われ、市内外の６人が大使に任命されました。

これは長浜の地場産業と観光盛り上げたいと、一般社団法人あいたくて長浜が創設したもので、浜ちりめんの着物をはじめ、長浜の魅力を世界に発信する役割を担います。大使の一人である市内在住の塚田陵子（つかだりょうこ）さんは、「きらめく長浜の観光資源を広く発信していきたい」と意気込みを語りました。